

大豆の部分浅耕一工程播種技術

部分浅耕一工程播種は、麦収穫後、荒起こしせずの一工程で耕起・播種する技術です。降雨の合間に播種が可能で播種後の湿害や乾燥害の軽減効果が期待できます。

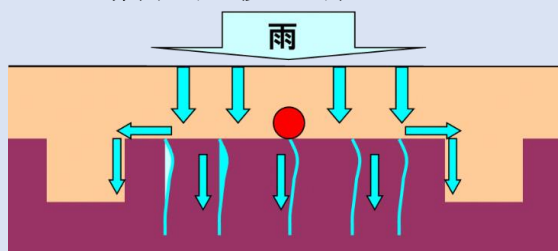
- 1** 麦収穫後、荒起こしはしない。
※麦わらは塊りができないように広げる

- 2** 播種10日程度前～前日
茎葉処理除草剤を散布する。
※根まで枯らす移行性の除草剤を使用
※近隣の作物への飛散注意

- 3** 改造ロータリの取付。
播種位置付近に2枚のカルチ爪を重ね合わせて取付



■ 播種前後の雨に強い

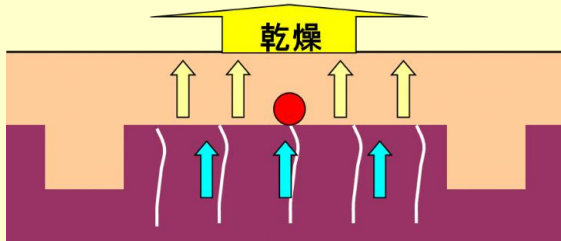


- 麦畦の亀裂が残っているので、雨の地下浸透が良い。
- 条間は深く起こしているので、排水溝の役目をする。

■ 浅耕でも根は深く張る



■ 播種後の乾燥に強い



- 未耕うん部分の土壌は乾燥しにくい。
- 種子が鋤床に接しており、地下からの水分供給がある。

■ 収穫ロスが少ない

